

知の玉手箱 2011

Best 24 Book Reviews by The Students & Others
at Mii Campus in Kurume University

久留米大学
御井図書館 編

読まなきゃ分からぬ「知の喜び」。

<http://www.mii.kurume-u.ac.jp/miilib/>

Prologue

『知の玉手箱 2011』 発刊にあたって

.....

『知の玉手箱』は、久留米大生の皆さんにとって 感銘や益を得る確率が高い一冊です

ここに『知の玉手箱 2011』を発行できましたことを嬉しく思います。本書には、本学の教員および学生のお勧めする本の紹介文 24 編が収められています。これは、学生諸君が読書をするに当たって、本を選ぶ参考にしてもらうために提供しているものです。

本の選択については、授業の参考書として先生から有益な本を指示される場合があるでしょう。また、『日本の名著』（中公新書 1）や『世界の名著』（中公新書 16）といった出版物を参考に選ぶことも良い方法だと思います。しかし、『知の玉手箱』は、久留米大学という同じ教育環境の下にある教員や学生が、皆さんに薦める本です。その意味で皆さんが読んで感銘を受けたり、有益であったりする確率が高いものと考えます。

また、人が本を選ぶということは、その人の興味の在り方を示すものといえるでしょう。ここに紹介文を寄せてくれた皆さんが、何に興味を持ち、何を考えているかが紹介文から読み取れると思います。その意味では、本の紹介文ではありますが、その文章を書いてくれた人の生き方や意見の表明であり、一つの読み物です。

さて、久留米大学の教員や学生、または自分の知人である誰々さんは、何に興味を持ち、何を考えているのか、自分とどのように異なるのか、または全く同じなのかが分かります。怖がらずに『知の玉手箱』を開けてみてください。その結果、少し成長し、歳を取るかもしれません。

終わりに、お忙しい中、原稿を提供いただいた先生や学生諸君に、厚く御礼申し上げます。

『知の玉手箱 2011』編集委員長
久留米大学 法学部
教授 関子 善信

はじめに

文芸 (小説)

評論・随筆・エッセイ

社会・政治・時事・ノンフィクション

- p.1 『知の玉手箱 2011』 発刊にあたって
 函子 善信 (久留米大学法学部)
- p.3 『十字架』 / 重松 清 著
 ●長田 有紀 (文学部学生)
 『四畳半神話大系』 / 森見 登美彦 著
 ●村上 太志 (商学部学生)
- p.4 『塩狩峠』 / 三浦 綾子 著
 ●田坂 公 (商学部)
 『小林秀雄の恵み』 / 橋本 治 著
 ●新山 康佑 (法学部学生)
- p.5 『この世でいちばん大事な「カネ」の話』
 / 西原 理恵子 著
 ●山田 克明 (法学部学生)
 『サマセット・モームを読む』 / 行方 昭夫 著
 ●安藤 裕介 (文学部)
- p.6 『数学者の世界』 / 彌永 昌吉 著
 ●野田 秋雄 (商学部)
 『あっぱれ! 朝日新聞 (笑)』 / 勝谷 誠彦 著
 ●辻本 尚弥 (健康・スポーツ科学センター)
- p.7 『死刑廃止論』 / 亀井 静香 著
 ●田川 栄作 (法学部学生)
 『トヨタの学び』 / 高橋 敏秋 著
 ●古賀 俊規 (法学部学生)
- p.8 『30 日間マクドナルド生活: 自分の体で
 実験してみました。』 / マツモト ケイジ 著
 ●古川 祐也 (文学部学生)
 『奇跡のリンゴ』 / 石川 拓治 著
 ●関口 みなみ (商学部学生)
- p.9 『僕が笑っている理由』 / 金子 貴俊 著
 ●福元 身和 (法学部学生)
 『公務員ムダ論—不況時代の公務員のあり方』
 / 福岡 政行 著
 ●小宮 慎貴 (法学部学生)
- p.10 『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』
 / 湯浅 誠 著
 ●青木 海次 (法学部学生)
 『死因不明社会—Ai が拓く新しい医療』
 / 海堂 尊 著
 ●満園 良一 (健康・スポーツ科学センター)
- p.11 『日本の医療—統制とバランス感覚』
 / 池上 直己・J.C.キャンベル 著
 ●満園 良一 (健康・スポーツ科学センター)

自己啓発

スポーツ

詩歌・児童書

巻末特集

- 『人間関係が「しんどい!」と思ったら
 読む本』 / 心屋 仁之助 著
 ●馬場 美保 (商学部学生)
- p.12 『生きるとは何か』 / 島崎 敏樹 著
 ●野田 秋雄 (商学部)
 『野村ノート』 / 野村 克也 著
 ●平塚 聖司 (法学部学生)
- p.13 『サッカーの見方は 1 日で変えられる』
 / 木崎 伸也 著
 ●辻本 尚弥 (健康・スポーツ科学センター)
 『勇気』 / 小浜 元孝 著
 ●川口 慎之介 (法学部学生)
- p.14 『クレーの絵本』 / 谷川 俊太郎 著
 ●白石 義郎 (文学部)
 『みすゞ』 / 映画『みすゞ』製作委員会 編
 ●白石 義郎 (文学部)
- p.22 巻末から読むページ
 学生生活を確実に充実させる第一歩、教えます!
図書館利用が 10 倍楽しくなる
「Web サイト」活用術
 p.22 ● 「トップページ」解説
 <コラム>
 図書館活用の達人になるための七箇条
 p.20 ● 書籍を探したい!
 p.19 ● 一般雑誌の記事を探したい!
 p.18 ● 学術雑誌の論文を探したい!
 p.17 ● 新聞記事を読みたい!
 p.16 ● 辞書や事典で調べ物をしたい!
 p.15 ● 著者名・作品名などから本を探したい!

本書で紹介された書籍類は
 すべて久留米大学御井図書館に
 所蔵されています



いじめが原因で亡くなった少年の同級生たち。 何を後悔し、どう成長していくのか？

●長田 有紀（文学部学生）

いじめを苦に中学2年で自殺した少年の遺書に挙げられた、4人の同級生の名前。「親友になってくれてありがとう」と書かれた主人公、「永遠に許さない」と書かれた2人の少年、「幸せになってください」と書かれた少女。この小説は、主人公と少女が十字架を背負いながらも生きていく日々を綴っている。

いじめがテーマの作品は沢山あるが、この小説はひと味違う。いじめられていた少年は既に死んでいて、描かれるのは冒頭の遺書を巡る、残された者達のその後の人生だ。主人公はいじめを見て見ぬふりしていた少年だが、遺書に親友と書かれていたことで、自殺した少年の家族からの感謝と糾弾を同時に受け、複雑な罪の意識に苛まれていく。一方、少女は別の理由で自責の念を感じている。共犯のように互いを支え合う主人公と少女は恋に落ちるが、その間には常に自殺した少年の影が重くのしかかる。

どんなに嘆いても戻れない過去が人に与える後悔と成長を描く、非常に考えさせられる話だ。

『十字架』

重松 清 著／講談社 刊

¥1,680（税込）



4つのパラレルワールドで描かれた 青春残酷(?)物語

●村上 太志（商学部学生）

大学3回生の主人公、『私』は薔薇色のキャンパスライフを夢見てサークルへと入部するが、社交性の低さのために孤立してしまう。そうして2年間の過ぎ、彼は後悔する。「あの時こんなサークルに入らなければ」「もしあの時、あのサークルを選んでいれば」と。

失った2年に執着する『私』。その想いは大事なものを手に入れたとて拭えない。

本書はそんな彼の4つの並行世界を描いた青春物語である。

過去を修正する事が不可能である以上、誰もが必ず後悔をする。だが、自分が無駄にしたと感じる時間もまた自分の人生を構成するものであり、他の誰か、例えば別の可能性を生きる自分から見れば必ずしも無駄とは言えないはずだ。

幸せの青い鳥はすぐ傍にいる。水面に映る月を追い求める前に、少しは自分の足下を振り返ってみては如何だろうか。

青い鳥には程遠くても、妖怪の様に不気味な親友ぐらいなら見つけられるかもしれないのだから。

『四畳半神話大系』

森見 登美彦 著／角川書店 刊

¥700（税込）



自らを犠牲にして大勢の命を救った 一人の青年の実話に基づいた物語

●田坂 公（商学部）

「どうしてこんなことができるんだ。僕にはできない……」

私は、この三浦作品を高校2年生のときに初めて読んで以来、おそらく5年に一度くらいのペースで読み直しています。

小説のクライマックスはラストにあります。「結納のため、札幌に向った鉄道職員永野信夫の乗った列車は、塩狩峠の頂上にさしかかった時、突然客車が離れ、暴走し始めた。声もなく恐怖に怯える乗客。信夫は飛びつくようにハンドブレーキに手をかけた……」。

この小説は、明治末年、北海道旭川の塩狩峠で、自らを犠牲にして大勢の乗客の命を救った一青年の実話に基づいています。主人公の気持ちを理解できるようになれるのだろうか？という問いが私のライフワークの1つになっています。250万部読まれているベストセラーですが、興味がある方は、ぜひ一読してみてください。

『塩狩峠』

三浦 綾子 著／新潮社 刊
¥660（税込）



“学問という大海” に出る意味と その世界の素晴らしさを実感！

●新山 康佑（法学部学生）

「橋本治を感動させ続ける、小林秀雄著『本居宣長』— 偉大な二人の先達を語ることで、筆者が伝えたい“思い”とは!? “学問する心”を巡る活字海洋冒険ロマン!!」。

本書のキャッチコピーを、漫画『ONE PIECE』のそれを真似て書いてみた。私にはこの2つ近いものである気がしてならない。

江戸に生まれ、『古事記』を解説し歴史上の人物となった本居宣長。明治に生まれ、宣長を知ろうとし、近代日本知性の巨人として君臨した小林秀雄。昭和に生まれ、彼らのメッセージを“自分の船で自分の航路を行け”と解した橋本治。

まさに“受け継がれる意志”。

橋本治が「小林秀雄はいい人だ」と思い、「もう一度、学問をやってみようかな」という気になった結果、生まれたのが本書である。“学問という大海”に出る意味を、そしてそれが単純に楽しくてロマンに満ちた世界だということを、この本に触れて感じてほしい。

『小林秀雄の恵み』

橋本 治 著／新潮社 刊
¥1,890（税込）



カラダを張った説得力で迫る 仕事やお金に対する姿勢や考え方

●山田 克明（法学部学生）

「お金」、それはこの世で生きる者なら誰もが関心を持ち、無関係ではいられない存在。その「お金」についての考え方を示してくれるのが今回、推薦する本です。この本は児童書のため大変読みやすく、間にユニークな絵も描いてあり、分かりやすい構成になっています。内容は著者の幼少から現在にいたるまでの経験談であり、特に「お金」に注目して述べられています。

個人的に印象深かったのは、大学生活から社会に移っていくところです。自分の境遇が就職活動中ということもあり、仕事やお金に対する姿勢や考え方は非常に参考になりました。著者いわく、「最下位による、最下位からの戦い方」。どうしようもない現実には誰の前にも立ちはだかります。でも、それを嘆いているだけでは何も変わりません。現実や自分自身をよく知れば、勝つ目は必ずでてくる。言われてみれば、当然のような気もしますが、これに気づき、それを実行することはなかなか難しいのではないかと感じました。

『この世でいちばん大事な「カネ」の話』

西原 理恵子 著／理論社 刊

¥1,365（税込）



人間はどう生きるべきか——、 モームの洞察が心を揺さぶる

●安藤 裕介（文学部）

サマセット・モームという名前を聞いて、懐かしさを覚える世代は、私を含めて 50 代以上の人であろう。昭和 30 年代には明らかにモームブームは存在したし、その少し後に大学教育を受けた私も、英語の学習のために、随分モームを読んだものである。その後、世の常として日本でのモームの人気は衰えたが、最近なってモーム愛好が復活したようである。

その理由として、筆者は①モームは巧みな語り②中野好夫氏のモーム論③モームの人間を見る目④人間はどう生きるべきについてのモームの洞察⑤権威に対するモームの反発を挙げている。どの理由も納得のいくものである。

④については、当時大学生であった私の心を大いに揺さぶるものであった。筆者が例としてだしている「人間の絆」の主人公のフィリップの「人生に意味はないのだ。人生とはペルシャじゅうたんの模様のようなものだ」という、結論に久々に出会い、改めてモームを通して、人生の意味を問い直している私自身に気づいている。

分詞構文も多いしイディオムも多いけれど、この書物を読んだ後、ぜひ原文でモームを読むことを勧める。

『サマセット・モームを読む』

行方 昭夫 著／岩波書店 刊

¥2,310（税込）



数学にコンプレクスを持つ方にも読んでほしい アカデミズムの知られざる人間的一面

●野田 秋雄（商学部）

数学者は、数や空間の世界の中に「調和」を感じ取り、それを支配する法則を見いだすために努力する。国境を越え、その共通の営みがなされる。そしてそこに「数学者の世界」が生まれるのである。

現代数学界に聳える秀峰や広大な裾野が、アルティン、シュヴァレー、ワイル、エルブラン、バンルヴェ、高木貞治、小平邦彦、正田健次郎、安部亮らの諸学者によって創られた。

本邦数学界の碩学、故・彌永昌吉 東京大学名誉教授は、これら内外の数学者たちを恩師、先輩、あるいは友人として持つ。本書は、この数学者の世界の様々な面を折に触れ描いたエッセイ集である。難解な数式とは無縁であるだけでなく、軽妙な筆遣いで書かれた本書は、「数学コンプレクス」を自認する読者にも、アカデミズムの知られざる人間的一面を見せてくれる。

『数学者の世界』

彌永 昌吉 著／岩波書店 刊
¥2,100（税込）



新聞をはじめとする報道の受け取り方を 笑いながら考えさせられる一冊

●辻本 尚弥（健康・スポーツ科学センター）

ある新聞の(といってもタイトルに書いてあるが)掲載記事をもとに、新聞社の報道姿勢や報道のあり方を批判した書籍である。新聞社の報道を「踊りの所作」にたとえて、それに対する批評文のように書かれている。このひねった書き方のために多少読み辛くはなっているものの、的確で厳しい批評が書かれている。私も最近のこの新聞の社説や有名なコラムに、「うん?」と首を傾げてしまうものが多くなったが、1冊の本としてまとめられたこの量をみると、「この新聞社は大丈夫なのか?」と思ってしまう。本書で取り上げた新聞は、大学入試に多くの掲載記事が使われた大新聞社発行のものである。それがこんな状況では、他の新聞社は・・・?と、つい考えてしまう。本書を読んで私は、世の中の今を知るのに、新聞やテレビの報道だけに頼るのは危険なことだと再認識した。新聞記やニュースを鵜呑みにして信用しないためにも、笑いながら気楽に読んでみてください。

『あっぱれ!朝日新聞(笑)』

勝谷 誠彦 著／ワック 刊
¥980（税込）



死刑制度で何が得られるのか… 具体的で分かりやすく解説

●田川 栄作（法学部学生）

『死刑廃止論』というこの本は、テレビにもよく出演され、皆さんお馴染みの亀井静香氏が著者である。亀井氏は元警察官であり、今は現役の政治家として活躍されています。本の内容に関しては亀井氏の死刑廃止に対する切実な思いや、なぜ廃止したいのか！と言う意見が具体的に書かれていて、法律の分野で修学中の私にとっては、とても理解しやすく興味深い一冊でした。また、現在どれだけの国がこの制度を取り入れているのか、この制度が導入されていることでどのような結果が得られているのかなど、亀井氏自身が警察時代に感じたことや、政治家になって研究により解明された結果等も本の中でグラフ化され表わされているため、興味がある方にはもってこいの一冊だと思います。そして廃止に対する意見だけではなく、実際に廃止に向けての取り組みなども書かれているので、共感が得やすいのではないかと思います。ぜひ読まれてください。

『死刑廃止論』

亀井 静香 著／花伝社 刊
¥840（税込）



現場の生の声から 大企業を支える技能の凄さを再認識

●古賀 俊規（法学部学生）

この本は、日本を代表する大企業トヨタで、経営者の方ではなく現場で定年まで働かれた方が書いており、トヨタを支えている現場の方の生の声を聞くことができます。

この本の著者は、昭和 39 年にトヨタの臨時工として入社され、平成 17 年に定年を迎えるまで、一貫してプレスの仕事を続け、さまざまな関連する工程を経験されており、トヨタの専門技能の最上級位「S 級」を取得されています。その著者が、トヨタで働いてみて、直接現場で直面したことや、勝ち組トヨタの裏事情、またトヨタ批判への反論など、さらには自動車関係だけではない現場の活動を、本音で表現したいという思いから、この本を執筆されています。

この本を読んだ私は、改めて大企業を支える技能の凄さ、重要性を認識させられました。また、長年監督者であった立場からの監督者の在り方には、非常に学ばされる部分も多く、その他にも長年トヨタにいた経験、言葉には説得力があり、とても有意義に読むことができました。

『トヨタの学び ～日本から中国へ～』

高橋 敏秋 著／文芸社 刊
¥1,470（税込）



ファストフード生活がカラダに及ぼす影響は？ おバカで真面目な実験記録

●古川 祐也（文学部学生）

アメリカの映画『スーパーサイズ・ミー』を見て、マクドナルドのメニューだけを食べると本当に12キロ太るのか、身体を壊すのかという疑問を感じた著者が自ら実験台となり、3食すべてがマクドナルドという生活を1カ月送ります。そして1カ月後、無事に実験は終了するのですが、さらに著者は「カップ麺ばかり食べていると病気になる」と、世間で言われている噂を確かめるべく、3食カップ麺だけで30日間を過ごす「30日間カップ麺生活」にも挑戦しています。

一見おバカな実験だなと思いますが、毎回几帳面に食べ物のカロリーや成分を記録し、体重や体調の変化を追い続けていて立派な実験になっています。文章そのものはテンポがよく、すいすい読めてしまいます。そして日記形式なので臨場感があり、実験結果の考察がされているのがいいです。ジョークとして読むもよし、食生活を考えるヒントとして読んでみるのもいいと思います。

『30日間マクドナルド生活：自分の体で実験してみました』

マツモトケイジ 著／祥伝社 刊

¥1,260（税込）



“リンゴ栽培の不可能”を 可能に変えた男の物語

●関口 みなみ（商学部学生）

この本を読みたいと思ったのは、無農薬のリンゴ栽培に成功したという話に興味を持ったこと、本の表紙で朗らかに笑う木村秋則さんに惹かれたことがきっかけです。

「農薬を使ってリンゴを栽培するのは、見た目の良いリンゴを作ることが目的。だからリンゴの無農薬栽培は、野菜より難しいだけで可能だろう」と本を読む前は考えていました。しかし、現在のリンゴと昔のリンゴは、異なる果物だったのです。リンゴは農薬が発明された後の品質改良によって、現在の甘いリンゴになりました。農薬があるため虫に強いリンゴではなく、味・見た目のよいものを栽培できたからです。つまり現在のリンゴは、農薬がなければ栽培することが出来ない果物でした。

本の帯には、「ニュートンよりも、ライト兄弟よりも、偉大な奇跡を成し遂げた男の物語」とあります。本を読む前は大げさだと思っていましたが、不可能を可能に変えた木村秋則さんは歴代の偉人達と並ぶ存在です。

『奇跡のリンゴ』

石川 拓治 著／幻冬舎 刊

¥1,365（税込）



笑顔の裏の壮絶な過去に、自分も がんばろうという気持ちに …

●福元 身和（法学部学生）

私がこの本を手にとって読んでみようと思ったきっかけは、この本を書いた俳優である金子貴俊さんを個人的に好きだったからです。

現在テレビで活躍中の金子貴俊さん。テレビの印象は、テレビを見ている人を和ませてくれる俳優、笑顔の絶えない俳優といったような、優しさを感じる俳優で、暗い過去があることなど微塵も感じられませんでした。

しかし、両親の離婚から始まった他人との生活、学校でも家でも続くいじめ、恋人の自殺未遂。そして、俳優になろうとし、立ち直るきっかけを掴んだ途端、重病に倒れた父。あの、ウォーターボーイは、重すぎる現実におぼれる寸前だったのです。テレビでは常に笑顔を絶やさない彼の壮絶な過去を赤裸々につづった本です。自分も笑顔で頑張ろうという気持ちになれる本なので、ぜひ読んでみてください。

『僕が笑っている理由^{わけ}』

金子 貴俊 著／集英社 刊

¥740（税込）



年収 37 兆円に対し、公務員の人件費 35 兆円… このままいけば、日本は公務員倒産！？

●小宮 慎貴（法学部学生）

この本の著者は福岡政行さんという政治学者の方である。帯にも記されているが、年収 37 兆円に対し、公務員の人件費が 35 兆円という事実を大きく取り上げ、「脱官僚だけではこの国は変わらない」「公務員の人件費のムダを省くことこそ、日本の財政を見直す上で必要である」ということが、まずは読み取れる。

そして、そのような中「現代における公務員とはどうあるべきか」「公務員に支払われる俸給、給料がいかにか国家財政を苦しめているか」ということについて、様々な角度から具体例を列挙し、そこから考えられる公務員のムダについての対策、解決方法を作者の私見を交えて述べている。

『公務員ムダ論—不況時代の公務員のあり方』

福岡 政行 著／角川書店 刊

¥740（税込）



他人ごととは思えない社会の現状、 自分の将来について考えさせられました

●青木 海次（法学部学生）

私が『反貧困』を選んだ理由は、将来、就職することを希望している人間として、ワーキングプアやニート、フリーターなどという社会の問題がとても他人ごととは思えなかったからです。私も一歩間違えればこういう状況に簡単に陥ってしまうのでないかという不安もあったので、この本を読んで少し自分の将来について考えてみようと思いました。

現在、日本にフリーターやニート、ワーキングプアなどという言葉が存在していることは知っていても、その問題が、今後どのような結果につながっていくのか、考えている人は少ないと思います。貧困をなくすには一人ひとりが興味と関心を持ち、自分たちの力で日本を変えていくしかありません。

今の生活の中で「貧困」を実感することは難しいかもしれませんが、しかし、少し社会に目を向けると、たくさん問題が私たちを取り囲んでいることを、この本を読んで実感しました。

『反貧困—「すべり台社会」からの脱出』

湯浅 誠 著／岩波書店 刊

¥777（税込）



一般には見え難い『身体性（死体）』の観点から 今後の医学・医療を論じた一冊

●満園 良一（健康・スポーツ科学センター）

今の社会を『身体性』から眺めた時に、最も分かりやすい時事問題は、医療に関わる『身体性』ではないかと思う。最も身近にあるような錯覚を受ける「移植医療」は医療における『身体性』の典型だと思うが、メディアに取り上げられ、「脳死」の問題と絡むことから、目を引きやすい。しかしながら、都市化に伴って結果的に、あるいは意図的に、隠されつつある「死」は、その死因までも分からない社会を作りつつある。目に触れやすい「移植医療」に対して、見え難い『身体性』の問題を取り上げたのが本書である。医学・医療の進歩に欠かせなかった解剖に焦点を当て、今後の医学・医療を論じているが、物語調で読みやすい。

解剖率2%台の日本が、『ルポ 医療事故』や『医療の限界』で垣間見たものと同様で、医療の崩壊に陥ることを暗示させているように思ってしまう。ここにも、経済の問題が見え隠れするし、『医療と福祉の経済システム』に通じるものを感じる。

『死因不明社会—Aiが拓く新しい医療』

海堂 尊 著／講談社 刊

¥945（税込）



この国特有の「特色の洗い出し」が、 将来の日本の医療への貴重な示唆に

●満園 良一（健康・スポーツ科学センター）

日本の医療は、従来からの医療費高騰に対する抑制から、昨今の研修医制度に始まり医師の不足や地域偏在、救急医療、後期高齢者医療保険の制度的問題とやけに騒がしい。加えて、医療との関わりが深い保健、福祉も特定保健指導、高齢者ケア、介護保険の問題なども絡み、将来の課題山積は、誰が見ても明らかだ。

その際に、歴史的な経緯も含めた日本の医療制度の特色について再考することは、意味があると思う。この本は10年以上も前に書かれながら、医療分野の市場原理を考える上で、今の時代を象徴する事柄に溢れている。そして、日本における医療の特徴が、マスコミを賑わす「診療報酬体系」「国民皆保険制度」だけではなく、日本社会特有のバランス感覚、つまり「和」の精神にあるらしいこと、開業医が江戸時代に遡る日本特有のものであることも考えれば、地域医療を支え、開業医を輩出してきた本学の歴史を考える上で、この本は貴重な示唆をもたらすのではないかと

『日本の医療—統制とバランス感覚』

池上 直己・J.C.キャンベル 著／中央公論社 刊
¥756（税込）



人間関係の行き詰まりの原因を 分かりやすく解説。前向きになりたい人に！

●馬場 美保（商学部学生）

人間誰でも人間関係で「しんどい」と思う事があります。ではその「しんどい」と思う原因がなんであるのか、本書では例え話を用いて分かりやすく説明されています。本書は「人間関係に疲れる人へ」「ネガティブ思考の人へ」「他人が許せない人へ」「全てに嫌気がさしている人へ」「人間関係で疲れないために」という5つのテーマの5章で構成されており、改めて指摘されてハッとす言葉や、心が軽くなる言葉がたくさん詰まっています。タイトルから「人間関係の悩みを改善する本」と思われるでしょうが、実際は「人間の考え方が行き詰まり悩んでしまう原因」について書かれています。なので「何故ネガティブ思考に陥ってしまうのか」「何故ちょっとした事で傷ついてしまうのか」…。そんな悩みを持つ人が自分自身の心を見つめ直し、少しでも前向きな考えを持つためにはどうすればいいのか。その方法を見つけるための、ちょっとした手伝いをしてくれる本です。

『人間関係が「しんどい！」と思ったら読む本』

心屋 仁之助 著／中経出版 刊
¥1,470（税込）



人間の“永遠のテーマ”を系統的に発掘し その正体を科学の目で見つめた一冊

●野田 秋雄（商学部）

思春期のとぼ口に入ったばかりのある時、私は突然、底知れぬ「死の恐怖」に襲われた。「奈落」とは暗黒の底なし沼のようなものなのか、“Man is mortal”の真意は何か、肉体は滅んでも魂は生き続けるのか…。

そのような時、書肆の一隅で目に止まったのがこの本であった。「生きることの意味」…精神病理学者の著者は、この永遠に重いテーマを改めて問い直し、人の生涯の幕開けから結びまでの「生きることの意味」を、「心の目覚め」「居がい（仲間と一緒に生きていることの生きがい）」「行きがい（自分から進んでいくことの生きがい）」…と系統的に発掘し、その正体を科学の目で見つめる。

文豪・島崎藤村を叔父にもつ著者の達意の文章と相俟って、本書は私の関心を一気に「精神の科学」へ転ずるに十分であり、その意味でも、自我に目覚め、自らの内面を凝視し始めた多感な少年時代の忘れがたいモニュメントの一つであった。

『生きるとは何か』

島崎 敏樹 著／岩波書店 刊

¥473（税込）



名将・野村監督が語るプロ野球哲学 その考えの深さに感銘

●平塚 聖司（法学部学生）

私がオススメする『野村ノート』は、楽天などプロ野球チームの監督を務めた野村さんが、現役選手～監督時代を通して会得した野球哲学について触れた本です。自分が知らなかった野球のセオリーや選手育成術などにおいて、野村監督の考え方に共感しました。その中のひとつに、「3年で獲れなければ、幸運がないかぎりタイトルは獲れない」という言葉があります。3年というのはレギュラーになって3年ということです。王選手やイチロー選手のようにタイトルの常連となるような選手は、ほとんどの確率でこの法則に当てはまります。野村監督はキャッチャーの出身ということもあり、元々緻密な分析をするのが得意な人だと思っていましたが、本書を読めば読むほど、野村監督の考えがいかに深いかということを知り、感銘を受けました。興味のある人は読んでください。

『野村ノート』

野村 克也 著／小学館 刊

¥580（税込）



いまさら聞けない「サッカーの見方」が あつという間に分かる本

●辻本 尚弥（健康・スポーツ科学センター）

サッカーは、基本的なルールがわずか 17 しかないシンプルなスポーツである。しかし「サッカーには興味があるのだけれど、ゲームは見ていてよく分からない」とか「得点シーンだけは分かるけれど、他はどこをみていいの?」といったことを聞く。役割のはっきりしているキーパーを除く 20 人が、得点のためにフィールドを自由自在に駆け回る様子は、確かに「誰を・どこを」みていいのかわからなくなるのかもしれない。

本書は、そんなサッカー観戦初心者のために書かれた。サッカーで昔から言われていた基本を整理し、重要な点に絞り、シンプルな理論とともに、攻守の場面あるいはポジション別に、その「見方」を提示している。その中心をなすのは「サッカーを観るためのポイント」だが、これらのことを選手が理解して実践できれば、チームはあつと言う間にトップクラスになれるはずである。サポーターも現役の選手も手に取ってぜひ読んでみて下さい。

『サッカーの見方は 1 日で変えられる』

木崎 伸也 著／東洋経済新報社 刊

¥1,575（税込）



夢中であることの素晴らしさを 教えてくれる一冊

●川口 慎之介（法学部学生）

本書は、社会人バスケットボールリーグの強豪「いすゞ自動車バスケットボール部」の元監督・小浜元孝さん(現・イカイレッドチンプス監督)が、チームを強くするために実践してこられたことをまとめた本です。私も小学校の頃からバスケットボールをやっていたので、この本からはたくさんの方に気づかされました。

小浜さんは言います。「強いチームを作るのにまず大事なものは、強い選手を育てること。そのためには選手をバスケットボールに夢中にさせなくては…」。私自身、小学生の頃は、パス、ドリブル、シュートなど、バスケットボールのすべてを新鮮に感じ、夢中になっていましたが、高校を卒業してまでそれを持続させるのは難しかった。ですが、小浜さんは信念も愛情も強く、何よりバスケットが大好き。そんな監督だったから、選手たちも夢中になれたんだということが分かりました。そしてこの本からは、人との接し方、何事にも勇気をもって事に当たることを学びました。

『勇気』

小浜 元孝 著／日本文化出版 刊

¥2,100（税込）



クレーの絵に谷川俊太郎が ことばを寄せた異色作

●白石 義郎（文学部）

「クレーの絵は抽象ではない。抽象画には精神は住めても魂は住めない」

この小さな本は、クレーの絵に谷川俊太郎がことばを寄せたものだ。クレーの絵は不思議だ。クレーが自らの絵に奇妙な題をつけた。「建設中のL広場」「オリエンタルな悦楽の園」など…。表題の真意はわからない。しかし、間違いなく言えることがある。クレーの絵は音楽だ。「クルトドラム奏者」は、クレーのこの世との惜別の絵だ。印象的な絵だ。クレーはモーツァルトの「レクイエム」のような天使の歌声では惜別しない。おおきな眼がこちらをみつめ、鳴り響くティンパニーの音でクレーはこの世と別れる。

どんなおおきなおとも
しずけさをこわすことはできない
どんなおおきなおとも
しずけさのなかでなりひびく

『クレーの絵本』

谷川 俊太郎 著／講談社 刊
¥1,575（税込）



「たましい」を啓発される みすゞの言葉に引き寄せられるごとく…

●白石 義郎（文学部）

本書は五十嵐匠監督の映画『みすゞ』のメモリアルとしてつくられた。というより、写真家・荒木経惟による金子みすゞの写真詩である。

金子みすゞの詩には「たましい」を啓発する力がある。多くの画家や絵本作家が金子みすゞの詩に絵や写真を寄せた。

この写真集は映画の主演でもある田中美里が大正の頃の服装で写されている。

これがいい。

みすゞのピュアな詩に生きた「いのち」が吹き込まれた。

「あたしはみすゞになって撮ったの。海だとか花だとか、いろんなものをみすゞの眼で撮ったのよ。彼女の気持ちになってこう……。近づけたような気がするね。主演の田中美里さんも美しかったし……」（荒木氏／談）

『みすゞ』

映画『みすゞ』製作委員会 編／紀伊國屋書店 刊
¥1,200（税込）

図書館利用が楽しくなる「Webサイト」活用術

たとえば、ある課題に際して、書物・雑誌・データベース・ネットワーク・インターネットなどを駆使して情報を収集。そのプロセスを経て、書物のゆかしさ、奥深さを味わい、情報メディアを使いこなすスキルを身に付け、レポートや論文を仕上げたり、教養や知識を身につけたり、あるいは就職活動に役立てる場、それが図書館です。ここでは皆さんが御井図書館を楽しく使っていくための第一歩となる「図書館Webサイト」の見方と活用方法を紹介します。実際に図書館に足を運ぶ前に、しっかりとチェックしておきましょう。

10倍

御井図書館 検索

まずはこのキーワードでアクセス！

久留米大学 御井図書館

図書・雑誌と図書館で探す
マイライブラリ / 本学OPAC / NDL-OPAC / Webat Plus / 久留米市立図書館

図書とオンライン書庫で探す
NCJ / Books.srip / 日本の書庫 / スーパー書店 / BOOK TOWNじんぼろ

雑誌の論文・記事を探す
雑誌記事索引(雑誌) / NDL-OPAC / 雑誌記事索引51集(雑誌) / MAGAZINE PLUS / Web-DYA-bunko(大塚社一文庫) / CINA

新聞の記事・与衆を見る
商業リビジュアル(朝日新聞) / 朝日デジタル(朝日新聞) / パピルス(朝日新聞) / 佐賀新聞(神戸大学国際研究センター) / 毎日フォトバンク / よみうり写真館

その他の学術研究ツール
日本e-レファレンス・ライブラリー / Japan Knowledge+ / Google Scholar / LEGAL Base / LEV/DB / 第一法規法律事務所データベースD1-Law.com / 法律文庫研究会 / NDEX / Westlaw International / JURIS Online / メディアカルオンライン / 医中誌Web / 英語情報 / SourceBEC / OECD Library / 国際情報 / STAGE / 電子ジャーナル検索 / 文献管理ツール - RefWorks

お知らせ
2011/3/23 国立情報学研究所サービス利用状況について(注目)
2011/3/23 図書館・学術情報センターからのお知らせ(注目)
2011/3/23 5月30日(一)休館日のお知らせ
2011/3/23 focus on file Reference Databaseについて
2011/3/23 読者満足度調査と本館対応について

カレンダー
3月
4月

「国立情報学研究所、サービス利用状況について」
(2011/3/23)

「CINA」、「Webat Plus」等、国立情報学研究所が提供するすべてのサービスは、東京電力の計画停電に際し「計画的なサービス利用が可能な予定」です。サービスが利用できる時間帯については、「国立情報学研究所コンテンツサービス利用状況」をご確認ください。

※学外への文献転写・複製等の依頼も、入手までにかかりの日程を要する状況があります。

利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

>> 平成23年 2011 (PDF)
2011 (PDF)

図書館利用案内
御井図書館ニュース
知の玉手箱
館内平面図
ハーウッド文庫
学内専用

書籍を探したい！

久留米大学御井図書館・医学図書館の他、国立国会図書館、国立情報学研究所、久留米市立図書館の検索サービスが利用できる他、「マイライブラリ」から貸出延長手続きも行えます

詳しい検索方法は R20へ

一般雑誌の記事を探したい！

国立国会図書館、日外Webサービス、大塚社一文庫、国立情報学研究所の検索サービスから雑誌記事の検索ができます

詳しい検索方法は R19へ

学術雑誌の論文を探したい！

国立国会図書館、日外Webサービス、大塚社一文庫、国立情報学研究所の検索サービスから雑誌記事の検索ができます

詳しい検索方法は R18へ

新聞記事を読みみたい！

朝日新聞、読売新聞、西日本新聞、佐賀新聞、神戸大学新聞、朝日フォトバンク、よみうり写真館の検索サービスから新聞記事の検索ができます

詳しい検索方法は R17へ

辞書や事典で調べ物をしたい！

日本国内で発行中の40以上の辞書や事典を揃える「Japan knowledge+」を通して、言葉の意味、外国語、人名、歴史など、さまざまなことを調べることが可能です

詳しい検索方法は R16へ

著者名・作品名などから本を探したい！

著者名や作品名などの断片情報から、その作品が収録された作品集や文学全集などといった詳細情報を調べることができる他、論文執筆支援サイト(RefWorks)や総記、法律、医学、経済、政治、科学の各専門分野の電子ジャーナルへもリンクしています(学内限定)

詳しい検索方法は R15へ

トップページはこんな感じです！

さらに！
図書館活用の達人になるための七箇条

- その一、授業の空き時間など、ヒマな時には図書館に行くせをつける
- その二、書架をゆっくり回して、どんな本があるのかを探る(1~2カ月かける)
- その三、月に何度か雑誌コーナー・新聞コーナーに通う
- その四、読書初心者にはノウハウ本コーナー、新書コーナーのチェックから！
- その五、OPAC(オンライン蔵書検索)の使い方をマスターする
- その六、AVコーナーで資料映像をチェックする
- その七、カウンターのスタッフにジャンジャン質問して仲良くする

お知らせ
図書館からのお知らせを速報します

カレンダー
2カ月分の開館日、開館時間が分かります

図書館利用案内
貸出冊数と貸出期間、延滞時のペナルティが分かります

御井図書館ニュース
年3回、御井図書館のニュースを掲載します

知の玉手箱
過去の本誌に掲載されたブックレビューを読むことができます

館内平面図
御井図書館の各フロアの平面図で、書籍や資料の配置が分かります

ハーウッド文庫
会計学分野の貴重なコレクションについて紹介しています

学内専用
学内の学生、教職員向けの専用サービスです

一般雑誌の 記事を探したい

御井図書館Webサイトでは、一般雑誌の記事を探すのに、「Web OYA-bunko(大宅文庫/学内限定)」「MAGAZINE PLUS(学内限定)」「NDL-OPAC雑誌記事検索(国立国会図書館)」「CINII(国立情報学研究所)」の4つのデータベースで検索できます

検索例 「ケータイ小説」に関する雑誌記事を「Web OYA-bunko」で調べます

雑誌の論文・記事を探す

1 「Web OYA bunko (大宅文庫)」をクリック

2 「ログイン」ボタンを1回だけクリック

3 「簡単検索」を選び、フリーワード「ケータイ小説」と入力し、「結果表示件数」、データ出力順(「新しい順」もしくは「古い順」)を選択

Point
「AND検索」=キーワード追加
「NOT検索」=削除ワード指定を入力することで、より精度の高い検索が可能になります

4 検索結果(該当記事)が表示されます

Point
「OYA-bunko(大宅文庫)」は、プロのマスコミ人も頻りに利用する雑誌の図書館。特に一般週刊誌・月刊誌・スポーツ誌、女性誌などの記事を資料として探したい時に力を発揮します

書籍を 探したい

御井図書館Webサイトでは、書籍類を探すのに、「Webcat Plus(国立情報学研究所)」「NDL-OPAC図書(国立国会図書館)」「久留米市立図書館」「御井図書館」の4つのデータベースで検索することができます

検索例 「明治時代」に刊行された「野球」に関する書籍をNDL-OPAC図書(国立国会図書館)で調べます

図書・雑誌を図書館で探す

マイライブラリ / 本学OPAC / NDL-OPAC / Webcat Plus / 久留米市立図書館

1 「NDL-OPAC」をクリック

2 「和図書」にチェックを入れ、タイトル「野球」出版年「1868~1912」と入力し、「検索」をクリック

3 アップされた全18件(18冊)の中から該当すると思う表示(書籍名/著者名)をクリック

4 書籍の詳細データがアップされます

Point
「NDL-OPAC図書」や「Webcat Plus」は、新旧の書籍をまとめて調べる際に大きな力を発揮します

新聞記事を 読みたい!

御井図書館Webサイトでは「閲覧Ⅱビジュアル(朝日新聞)」
「ヨミダス文書館(読売新聞)」「パピルス(西日本新聞)」などを
通じて各社の新聞記事を過去から現在までまとめて検索し、
読むことができます

検索例 「バルセロナオリンピック(1992年7月25日~8月9日)」に
関する新聞記事を「閲覧Ⅱビジュアル(朝日新聞)」で調べます

新聞の記事・写真を見る

「閲覧Ⅱビジュアル(朝日新聞)」
「ヨミダス文書館(読売新聞)」
「パピルス(西日本新聞)」

1 「閲覧Ⅱビジュアル(朝日新聞)」をクリック



2 検索モード=「シンプル検索」を選択
キーワード=「オリンピック」と入力
発行日=「1992年7月25日」から
「1992年8月9日」と入力
リスト表示=件数「100」を選択
順序「新しい順」を選択

Point

「AND検索」=キーワード追加/TOR
検索」=複数キーワードを追加/
「NOT検索」=削除ワード指定の
入力で、精度の高い検索が可能に
なります



3 検索結果(該当記事)が表示され
た中から、読みたいと思う「記事
タイトル」をクリック
⇒表示されない場合は、2)に戻り、
入力するキーワード等を工夫してください

4 検索結果(該当記事)に関する
記事本文が表示されます



学術雑誌の 論文を探したい!

御井図書館Webサイトでは、学術雑誌に掲載された論文を探すのに、
「CiNii(国立情報学研究所)」「MAGAZINE PLUS(日外アソシエー
ツ)」「NDL-OPAC雑誌記事検索(国立国会図書館)」「Web OYA-
bunko(大宅社一文庫)」の4つのデータベースから検索できます

検索例 「日本の環境アセスメント」に関する論文を「CiNii(サイニイ)」で調べます

雑誌の論文・記事を探す

「MAGAZINE PLUS」
「Web OYA-bunko(大宅社一文庫)」
「CiNii」

1 「CiNii」をクリック

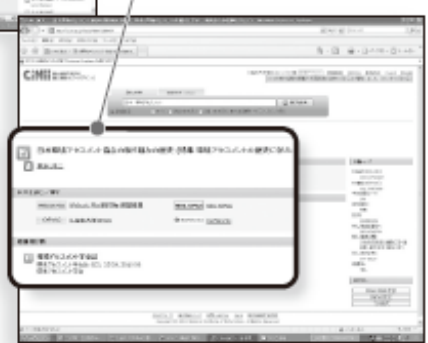


2 入力欄に「日本 環境アセスメント」と入力し
「論文検索」ボタンをクリック



3 検索結果(該当論文)が表示され
た中から、読みたいと思う「記事
タイトル」をクリック

4 検索結果(該当論文)に
関する著者・掲載誌など
詳細情報が表示されます



Point

学術論文検索に強いのは「CiNii」
「MAGAZINE Plus」、特に「CiNii」は、
論文によっては本文まで読める
ものもあります

著者名・作品名 などから本を探したい!

御井図書館Webサイトでは、著者名や作品名などの断片情報から、その作品が収録された作品集や文学全集などといった詳細情報を調べることもできます

検索例 「ミステリー作家・乙一(おついち)が出版した書籍」を「日外e-レファレンス・ライブラリー」で調べます

- 「日外e-レファレンス・ライブラリー」をクリックする
- 「LOGIN」ボタンをクリック
- キーワード＝「乙一」と入力し、すぐ下の「現代日本文学全集総覧」「短編小説作品名目録」「日本文学研究文献要覧／古典・現代」の中で検索を外したい検索エンジンがあれば、左のチェックを外し、「検索」ボタンをクリック
- それぞれの項目に該当件数が表示されるので、さらに調べたい検索エンジンの「一覧表示」をクリック
- 検索結果が一覧表示される。さらに調べたい作品名をクリック
- 該当作品に関する詳細情報(収録本/出版年/出版社名など)が表示される

おわりに…
ここで紹介した以外にも、御井図書館Webサイトでは、様々な専門分野の情報を検索することができます。「検索の達人」になれば、学生生活はもちろん、社会人になってからも役立つ場面が多いですよ

辞書や事典で 調べ物をしたい!

御井図書館Webサイトには百科事典、国語辞典、歴史事典、人名辞典、英和・和英辞典などを同時に検索し、該当記事を読むことができる機能があります。大変便利な機能です

検索例 「シオニズム」の意味を「Japan knowledge+」で調べます

- 「Japan knowledge+」をクリックし、「ログイン」する
- 基本検索タグの入力欄に「シオニズム」と入力し「検索」ボタンをクリック
- さまざまな辞書や辞典に掲載された「シオニズム」に関する記事のヘッドラインが表示されるので、その中から読みたいと思う記事の「続きを読む」をクリック
- 検索結果(該当記事)に関する記事の全文が表示されます

Point
「Japan knowledge+」は、各種辞書や事典をはじめ、収録コンテンツ40以上、総項目数218万、総数約16億文字におよぶオンラインデータベース、学内限定で検索可能です

久留米大学 御井図書館

有効活用のススメ

- ✓ 教養や思索を深めたい
- ✓ 課題・レポート・論文を仕上げたい
- ✓ 世の中のことをちゃんと知りたい
- ✓ 就職活動に役立つ情報を調べたい
- ✓ 人生を高めたい

…大学図書館は、そんな学生の皆さんの心強い味方です！



学生生活を充実させるための第一歩が

「」から始まります！

図書館を使いこなせてこそ
一人前の大学生です。